

平成29年度事業報告書

平成29年度は、雇用・所得環境の改善が続けられる中で、経済の緩やかな回復基調が続いている。廃棄物処理業界でも人材の確保や処理料金の適正化に努力してきた1年であった。

こうした中、協会は、会員企業の円滑な事業推進のための環境整備をモットーに、各種研修会・講習会の実施、廃棄物処理法改正に関する情報提供、東京都予算・制度改正等に対する知事や政党への要望、個別課題としての再生砕石・建設廃棄物問題の解決に向けた関係団体への働きかけ等、組織団体だからこそできる活動・事業を鋭意推進してきた。また協会の実質的な活動を支える7つの委員会、3つの部会は、常日頃から、それぞれが設定した課題解決・目的実現に向け活発な活動を行ってきた。

以下、主な活動を報告する。

1. 適正処理推進事業（公益的事業）

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

法制度の改正や首都直下などの巨大地震による災害廃棄物対策の動向等に的確に対応するとともに、異物混入による事故の防止など、業界が直面する課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、調査研究を行い、要望等を実施した。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。

① 建設廃棄物・三者施設見学研修会 見学会：23名 勉強会：25名

〔本協会・建設廃棄物委員会 主催〕

対象者：東京都環境局資源循環推進部

(一社)東京建設業協会 (一社)東京建物解体協会

(一社)東京都産業廃棄物協会 建設廃棄物委員会

期 日：平成29年10月17日

見学先施設 : (株)トクヤマ・チヨダジプサム 関東工場 (千葉県袖ヶ浦市)
チヨダウーテ(株) 千葉工場 (千葉県袖ヶ浦市)
S.P.E.C.(株) エコレ城南島 (大田区)

勉強会講師 : 東京都環境局資源循環推進部

〃 内容 : 水銀関連について
解体建物の地下建物の残置について
アスベスト廃棄物の処理と廃棄物処理法について

〃 場所 : (一社)東京建設業協会 会議室 (中央区)

② 第3回医療廃棄物排出事業者向けセミナー 88名

[本協会・医療廃棄物委員会 主催]

対象者 : 医療廃棄物排出事業者

期 日 : 平成29年12月1日

内 容 : 平成29年廃棄物処理法改正法と排出事業者責任を問われた事例
感染性廃棄物の適正処理についてのお願い
感染性廃棄物処理マニュアルの改訂内容と排出現場の対応

講 師 : 協会顧問弁護士事務所のパートナー弁護士
(公社)神奈川県産業資源循環協会 医療廃棄物部会
東京臨海リサイクルパワー(株)

場 所 : エッサム神田2号館 (千代田区)

③ 医療廃棄物適正処理研修会 80名

[本協会/東京都環境局/(公社)東京都医師会 主催]

対象者 : 特別管理産業廃棄物管理責任者等

期 日 : 平成30年 3月17日

内 容 : 在宅医療廃棄物を巡る諸課題
水俣条約を踏まえた水銀廃棄物対策について
廃水銀血圧計・廃水銀体温計自主回収への東京都医師会の取組について
産業廃棄物の適正処理を果たすための排出事業者責任について
東京都医師会方式による医療廃棄物追跡管理システムの活用について
医療廃棄物の取扱と注意点

講 師 : (公社)日本医師会
環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課
(公社)東京都医師会
東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課

(公財)東京都環境公社

(一社)東京都産業廃棄物協会 医療廃棄物委員会

場 所 : 東京都庁 都民ホール (新宿区)

④ 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース

[本協会 / (公社)全国産業廃棄物連合会 共催] 129名

期 日 : 第1回 平成29年11月20日 60名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者等

内 容 : 建設系廃棄物処理委託契約書について
建設系廃棄物マニフェストについて

講 師 : (一社)東京都産業廃棄物協会 相談員

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

期 日 : 第2回 平成30年 1月31日 69名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者等

内 容 : 産業廃棄物処理の基礎
産業廃棄物の委託処理と委託契約 / 産業廃棄物管理票・帳簿

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

[実施機関 : (公社)全国産業廃棄物連合会 実施協力 : 本協会] 121名

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者等

期 日 : 平成30年 2月 6日

内 容 : 産業廃棄物処理の基礎
産業廃棄物の委託処理と委託契約 / 産業廃棄物管理票・帳簿

講 師 : (公社)全国産業廃棄物連合会

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

2) 講習会事業 (許可申請等に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1,027名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日 : 第1回 平成29年 5月18日～19日 156名

第2回 29年 6月 8日～ 9日 157名

第3回 29年10月19日～20日 160名

第4回 29年11月16日～17日 159名

第5回	30年	1月11日～12日	148名
第6回	30年	3月1日～2日	154名
場所	ベルサール西新宿（新宿区）		

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	第1回	平成29年	9月6日～8日	93名
場所	ベルサール西新宿（新宿区）			

② 更新許可申請講習会 1,364名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	第1回	平成29年	5月12日	171名
	第2回	29年	6月2日	175名
	第3回	29年	7月7日	176名
	第4回	29年	9月22日	168名
	第5回	29年	11月10日	173名
	第6回	29年	12月13日	164名
	第7回	30年	1月19日	162名
	第8回	30年	3月9日	175名
場所	ベルサール西新宿（新宿区）			

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2,635名

期日	第1回	平成29年	5月11日	154名
	第2回	29年	5月17日	168名
	第3回	29年	6月1日	173名
	第4回	29年	6月15日	169名
	第5回	29年	7月13日	173名
	第6回	29年	7月14日	165名
	第7回	29年	9月21日	163名
	第8回	29年	10月13日	158名
	第9回	29年	10月18日	169名
	第10回	29年	11月9日	158名
	第11回	29年	12月7日	160名
	第12回	29年	12月8日	168名
	第13回	30年	1月18日	156名
	第14回	30年	2月22日	166名
	第15回	30年	2月23日	169名
	第16回	30年	3月8日	166名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 (医療関係機関等対象) 168名

期日 : 第1回 平成29年 9月27日

場所 : 日本医師会館 (文京区)

⑤ PCB廃棄物の収集運搬作業従事者講習会 333名

期日 : 第1回 平成29年 7月19日 166名

第2回 平成30年 3月13日 167名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。29年度の相談件数は、2,707件であった。

平成29年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,707件の内訳)		II 照会・相談・質問 者内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,676	排出事業者等	1,972	会員紹介	1,772		
	相談事項	412			法令	399		
	質問事項	579	処理業者	292		処理方法	130	
面接 WEB等	処理先照会	40	建設業関係	216		契約書・管理票	259	
	相談・質問事項		行政機関	51		リサイクル関連	12	
計		2,707	コンサル	26		建設廃棄物	4	
			医療機関	42		許可関係 (講習会関係以外)	121	
			一般都民	108		その他	10	

2. 環境対策事業 (公益的事業)

(1) 環境活動

女性部が、部員各社が集めたペットボトルキャップの売却益等を原資に購入した大型絵本を、東日本大震災被災地の陸前高田市市立図書館及び社会福祉法人陸前高田市保育会を通じ順次市内の保育所に寄贈した。

さらに、会員各位の協力を得て、「ベルマーク回収による東日本大震災被災校への支援活動」を女性部が中心となり行った。

(2) 環境対策事業

該当事業なし。

(3) 災害廃棄物対策事業

総務委員会内に災害廃棄物検討分科会を設け、首都直下型地震等の際の処理業者の視点からの対応策を検討した。

3. 普及事業（その他事業）

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

また、安全衛生に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 協会発行図書等の有償頒布

主な有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	1, 040部
建設廃棄物処理委託契約書	1, 412部
建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例	255部

車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	28社	116組
シート(固定)式	6社	10組
合計	34社	126組

*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、(公社)全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、「電子マニフェストに係る説明会」を実施するとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子

マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）」〔(公社)全国産業廃棄物連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

種 類		単 票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	191,300 セット	170,000 セット	361,300 セット
	積替用	28,900 セット	88,000 セット	116,900 セット
建設系廃棄物		386,400 セット	287,500 セット	673,900 セット
合 計				1,152,100 セット

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状（受渡確認票）	7,400 セット
--------------------------	-----------

電子マニフェストに係る説明会

336名

〔(公社)全国産業廃棄物連合会業務委託「電子マニフェスト運用支援業務」〕

対象者： 排出事業者及び収集運搬業者、処分業者においてマニフェスト業務に携わる実務担当者、電子マニフェストの導入を検討されている企業等

講師： (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

開催日時		内 容	場 所	参加者
平成 29 年 9 月 29 日	10:00 ～12:00	電子マニフェスト 操作体験セミナー	ラーニングスクエア 新橋（港区）	12 名
	14:00 ～16:00			18 名
平成 29 年 10 月 23 日	10:00 ～12:00	電子マニフェスト 操作体験セミナー	ラーニングスクエア 新橋（港区）	19 名
	14:00 ～16:00			18 名
平成 29 年 11 月 7 日	10:00 ～12:00	電子マニフェスト 導入実務研修会	エッサム本社ビル （千代田区）	77 名
	14:00 ～16:20	電子マニフェスト 個別導入相談会	エッサム本社ビル （千代田区）	4社9名
平成 29 年 12 月 5 日	10:00 ～12:00	電子マニフェスト 導入実務研修会	エッサム本社ビル （千代田区）	84 名
	14:00 ～16:20	電子マニフェスト 個別導入相談会	エッサム本社ビル （千代田区）	3社6名
平成 30 年 2 月 8 日	14:00 ～16:00	電子マニフェスト 導入実務研修会	エッサム本社ビル （千代田区）	93 名

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんばい」は第320号から第331号まで計12号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① [団体課題別人材力支援事業]
「環境ビジネス☆就職フェア」を開催 第2弾
- ② [全国産業廃棄物連合会]
第58回関東地域協議会開催される
環境省・課長、全産廃連・専務理事が講演
- ③ [第5回定時総会]
平成28年度事業の報告並びに決算が承認
平成29年度表彰式 4部門で6社と33名が受賞
- ④ [平成29年度国内処理施設見学研修会]
DOWAグループ関連施設を見学
～エコシステム秋田・小坂製錬・エコシステム小坂～
- ⑤ 平成29年度第1回新入会員と協会役員との懇談会
- ⑥ [建設廃棄物委員会・建設混合廃棄物分科会]
一都三県建設混合廃棄物意見交換会「勉強会」開催報告
- ⑦ 中間処理委員会・収集運搬委員会が合同で「温暖化防止勉強会」を開催
- ⑧ 「東京ブランド“粋な”エコ石」都の基準認証を取得
～再生砕石の利用拡大に向け全国初～
- ⑨ 東京都予算に対する小池知事ヒアリング
- ⑩ [医療廃棄物委員会]
「第3回医療廃棄物排出事業者セミナー」を開催
- ⑪ 新春講演会・賀詞交歓会を椿山荘で開催
講演『笑う門には福来る！スマイル・コミュニケーション 笑倍繁盛！』
- ⑫ [安全衛生推進委員会]
平成29年度第3回安全衛生研修会
『産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について』

(3) 会員事業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 安全衛生研修会 181名

〔安全衛生推進委員会 主催〕

ア 第1回安全衛生研修会

期 日 : 平成29年 6月29日 52名

内 容 : 管理監督者向けラインケアセミナー

講 師 : 中央労働災害防止協会

場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

イ 第2回安全衛生研修会

期 日 : 平成29年10月18日 65名

内 容 : 自社における安全衛生推進の取組について

講 師 : JFE環境(株) 東京臨海リサイクルパワー(株)

場 所 : エッサム本社ビル (千代田区)

ウ 第3回安全衛生研修会

期 日 : 平成30年 2月21日 64名

内 容 : 産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について

講 師 : 東京労働局

場 所 : フォーラムミカサエコ (千代田区)

② 医療廃棄物勉強会 32名

〔医療廃棄物委員会 主催〕

期 日 : 平成29年 6月23日

内 容 : 廃棄物処理法の改正状況
水銀規制に伴う政省令の改正状況

講 師 : 東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課

場 所 : 本協会会議室 (千代田区)

③ 平成29年度東京都「団体課題別人材力支援事業」(東京しごと財団受託事業)

〔本協会企画〕

ア 個社別採用・育成・定着支援の実施

内 容 : 従業員の採用・定着等に係る個社別課題に応じた研修・コンサルティングの実施

(個社訪問研修や関係法令等を踏まえた営業スキルアップ向上のための集団研修、各種資格取得支援等

15事業 383回 1,031名)

イ 出前講座の実施

- 期 日 : **第1回** 平成29年11月 2日
- 内 容 : 『資源リサイクルを考えるワークショップ』
武蔵野大学 環境工学部環境システム学科3年生を対象とした環境学習等
- ・リサイクル業界への理解を深める
 - ・持続可能な社会へ向けて自身ができることを考える
- 参加者 : 41名
- 場 所 : 武蔵野大学 有明キャンパス (江東区)
-
- 期 日 : **第2回** 平成29年11月15日
- 内 容 : 『知る・触れる・考える』
東洋大学 理工学部都市環境デザイン学科3年生を対象とした環境学習等
- ・就職先の選択肢としての産業廃棄物業界の魅力
 - ・産業廃棄物業界に対する理解を深める
- 参加者 : 113名
- 場 所 : 東洋大学 川越キャンパス (埼玉県川越市)
-
- 期 日 : **第3回** 平成29年12月11日
- 内 容 : 『資源リサイクルを考えるワークショップ』
東京都市大学 環境学部1年生を対象とした環境学習等
- ・消費者の選択 (ライフスタイル) が社会や世界に繋がる責任を知る
 - ・持続可能な社会へ向けて自身ができることを考える
 - ・廃棄物処理業界への理解を深め、身近に感じてもらう
 - ・働き甲斐のある業界であることをイメージしてもらう
- 参加者 : 200名
- 場 所 : 東京都市大学 横浜キャンパス (神奈川県横浜市)
-
- 期 日 : **第4回** 平成30年 2月 8日
- 内 容 : 『産業廃棄物業を知り、イメージを変え尚且つイメージアップを図る、将来性ある企業として認知する』
日本工学院八王子専門学校1年生を対象とした環境学習等
- ・資源を生み出す仕事について考える
 - ・ケーススタディによる資源循環事業の紹介
 - ・静脈インフラ産業を目指して 他
- 参加者 : 21名

場 所 : 日本工学院 八王子専門学校 (八王子市)

ウ 合同企業説明会・面接会『環境ビジネス☆就職フェア』の実施

期 日 : 平成30年 3月19・20日

内 容 : 来春卒業予定の新卒者及び中途採用希望者を対象とした会員企業
(29社)によるパネルディスカッション、合同企業説明会・面接
会

来場者 : 194名

場 所 : 新青山ビル西館 (渋谷区)

エ 雇用環境整備 (事業承継) 研修の実施

内 容 : 事業継承に係る課題を抱える経営者・管理監督者を対象に、
延べ12回実施

- ・事業継承支援等で実績のある専門コンサル会社や弁護士等による複数回にわたる法務、財務、経営面からのテーマ別研修
- ・当協会会員企業で環境大臣表彰や東京都知事表彰の実績がありかつ定期的な採用システムの構築、従業員間のノウハウの移転等がうまくいった企業の経営者による「雇用環境整備 (事業継承)」の実施

④ 国内処理施設見学研修会

32名

期 日 : 平成29年 6月 9日 ~ 10日

見学先 : エコシステム秋田(株) (秋田県大館市)
小坂製錬(株) (秋田県鹿角郡)
エコシステム小坂(株) (秋田県鹿角郡)

2) 会員交流・増強事業

- ① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。
- ② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

会 員 数 の 推 移

	正 会 員	賛助会員	計
平成28年度末会員数	549	64	613
平成29年度入会者数	14	12	26
〃 退会者数	13	5	18
平成29年度末会員数	550	71	621

③ 関係団体との協力では、(公社)全国産業廃棄物連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

29年度は、『優良事業所表彰』5社、『功労者表彰』2名、『優良従事者表彰』31名、安全衛生表彰『会長賞表彰』1名、『安全衛生推進委員長賞表彰』1社・1名を表彰した。

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (1回)

第5回定時総会 期 日 : 平成29年 5月29日
場 所 : ホテル椿山荘東京(文京区)
議 案 : ①平成28年度事業報告の件
②平成28年度決算報告承認の件
出席者 : 399名(委任状を含む)

(2) 理事会 (定例会8回)

第35回理事会 期 日 : 平成29年 4月12日
第36回理事会 期 日 : 平成29年 5月10日
第37回理事会 期 日 : 平成29年 7月12日
第38回理事会 期 日 : 平成29年 9月13日
第39回理事会 期 日 : 平成29年11月 8日
第40回理事会 期 日 : 平成29年12月13日
第41回理事会 期 日 : 平成30年 1月10日
第42回理事会 期 日 : 平成30年 3月14日

(3) 常任理事会 (14回)

平成 29 年	4 月 12 日	平成 29 年	4 月 25 日	平成 29 年	5 月 10 日
平成 29 年	6 月 14 日	平成 29 年	7 月 12 日	平成 29 年	7 月 25 日
平成 29 年	9 月 13 日	平成 29 年	10 月 24 日	平成 29 年	11 月 8 日
平成 29 年	11 月 28 日	平成 29 年	12 月 13 日	平成 30 年	1 月 10 日
平成 30 年	3 月 14 日	平成 30 年	3 月 27 日		

5. 委員会・部会活動

(1) 総務委員会

事業計画や執行に関する基本的事項、協会の財政基盤強化など横断的事項について協議し、調整を行った。

分科会として法制度検討委員会は、協会版「マニフェストFAQ」の作成に注力し、平成30年3月26日に当協会ホームページにアップした。

また、東京都災害廃棄物処理計画の策定に伴い、処理業界として、災害時の協力態勢をどう構築するか検討を進めるため「災害廃棄物検討分科会」を設置し、東京都環境局及び二十三特別区とも協議した。29年度の検討結果を報告書として取りまとめた。

(2) 広報委員会

協会諸活動及び法制度に関する情報を機関誌『とうきょうさんばい』と協会ホームページを通じて、「正確・迅速」に協会員へ伝えた。

機関誌の企画・編集における新たな取組については以下のとおりである。

- ・2020パラリンピックのムードアップのため、表紙にパラリンピック競技の紹介写真を掲載した。
- ・協会運営改善に向けての各役員自らの方策、活動を順次掲載した。
- ・「賛助会員事業紹介」のコーナーを連載し、賛助会員事業の情報を提供した。
- ・読者からの提案を受け、国立国会図書館に毎号納本することとした。

また、従前より、協会員各位の広報委員会への参画、機関誌の誌面への参加を図っているが、29年度も殆んど実現できなかった。

(3) 中間処理委員会

- ① 3年程前からテーマとして取り上げている異物混入問題については、平成29年度の活動にも取り上げ、大変重要な問題でありながら、今期十分な取組まで至らなかった。ただ、非常に重要でこの問題が事故に直結しているケースも多く見受けられる。来期もテーマの重要課題として取り上げ、リーフ

レットの見直し及び効果の検証、行政への働きかけ等、積極的に活動をしていくこととした。

- ② 10月12日、熊本の災害廃棄物の取組について、地元業者の石坂グループの施設見学及び新たな取組の流れ等々を視察し、大変勉強になった。

ゼネコンの下での作業ではなく、県内処理業者5社、県外処理業者8社、計13社でベンチャーをつくり、確実に県民・行政の期待に応えられたことは、今後の我々にとって大変教訓になった。(参加者17名)

- ③ 収集運搬委員会との合同研修会実施

収集運搬委員会と合同で9月25日に温暖化防止研修会を開催した。来期以降も密接に連携していくこととした。

- ④ 温暖化防止対策について

2月の委員会で

- ・東京都環境局及びクールネット東京より、業種別省エネルギー対策テキストの作成についてと無料省エネルギー診断について説明があった。
- ・産業廃棄物中間処理業の省エネルギー対策テキスト作成に向け、アンケートの配付・回答と省エネ診断受診事業者募集の協力依頼があった。
- ・委員会で活発な意見が交わされた結果、基本的には前向きに検討していくこととした。

(4) 安全衛生推進委員会

6回の委員会と3回の研修会等を以下のとおり実施した。

① 研修会

第1回研修会 6月29日

- ・中央労働災害防止協会講師によるメンタルヘルス研修会「管理監督者向けラインケアセミナー」を実施した。参加者は52名であった。

第2回研修会 10月18日

- ・当協会安全衛生表彰被表彰者(事業所)であるJFE環境(株)と東京臨海リサイクルパワー(株)を講師とし、「自社における安全衛生推進の取組について」をテーマに講演を行った。参加者は65名であった。

第3回研修会 2月21日

- ・東京労働局産業安全専門官を講師とした研修会「産業廃棄物処理業における労働災害防止対策について」では、廃棄物処理業界の労働災害について、その予防と対策の研修を実施した。参加者は64名であった。

- ② 安全週間や年初に安全衛生推進ポスターを会員各社に配布した。
- ③ 当協会の平成29年度労働災害防止計画における活動目標は達成した。平成30年度労働災害防止計画(案)を策定した。
- ④ 委員会活動を通じ、会員各社の安全衛生活動の啓発に努めた。

- ⑤ 産業廃棄物処理業界全体の労働災害を防止するため、非会員の中間処理業者196社に厚生労働省の要請文等を送付した。
- ⑥ 総会では、安全衛生活動に顕著な実績を示した1社及び2名の表彰を行った。

(5) 医療廃棄物委員会

① 6月23日 医療廃棄物勉強会

「廃棄物処理法の改正状況」

「水銀規制に伴う政省令の改正状況」

2つのテーマについて東京都環境局資源循環推進部産業廃棄物対策課に講和をしていただいた。会員の中で、感染性廃棄物を取り扱う処理業32名の参加があった。制度見直しの論点がよく理解ができた。

② 9月15日 医療廃棄物合同懇談会

(一社)東京都産業廃棄物協会、(公社)神奈川県産業資源循環協会、(公社)静岡県産業廃棄物協会の1都2県が集まり、(公社)東京都医師会理事から医師会としての医療廃棄物の取組(東京都医師会方式など)をご講演いただいた。引き続き各県が活動報告を行い、最後に活発な意見交換会ができた。

③ 12月1日 医療廃棄物排出事業者向けセミナー

「平成29年廃棄物処理法改正法と排出事業者責任を問われた事例」

講師 協会顧問弁護士事務所のパートナー弁護士

「感染性廃棄物の適正処理についてのお願い」

講師 (公社)神奈川県産業資源循環協会 医療廃棄物部会副部会長

「感染性廃棄物処理マニュアルの改訂内容と排出現場の対応」

講師 東京臨海リサイクルパワー(株) 顧問

3名の方々にご講演をいただいた。参加者は88名であった。

④ 2月23日 施設見学会

見学先：(株)メディカルパワー

感染性廃棄物中間処理施設(マイクロウェーブ式滅菌処理装置)

サイクルペールシステム(感染性廃棄物収納容器を滅菌し再利用する)

(6) 収集運搬委員会

① 委員会は、4月26日、6月19日、10月25日、2月13日の計4回開催した。

② 9月25日に中間処理委員会と合同で温暖化防止研修会を、11月14日には収集運搬業務の改善セミナーを開催した。

9月25日の温暖化防止研修会では、当協会専務理事から(公社)全国産

業廃棄物連合会の「低炭素社会実行計画」についての内容説明、続いて東京都環境局地球環境エネルギー部及び環境改善部から「東京都の温暖化防止の取組と今後の展開」についての案内・説明があった。

11月14日開催の「収集運搬業務の改善セミナー」では、当委員会で従前より検討しているドライバーの確保の問題や配車業務・運行管理等業務効率化について知見を深めるため、賛助会員の(株)エジソンから「ITを活用した辞めない現場サイドの業務改善・失敗事例の紹介」、「採用難時代におけるITを活用した採用方法」について、我々処理業者の日々の業務改善に直結する大変興味深いお話をいただいた。

なお、研修会は49名、セミナーは67名と多くの会員企業の参加をいただくことができた。

- ③ 2月13日の委員会では、平成30年度活動計画を確定するとともに、平成30年5月29日に開催を予定している産業廃棄物処理業における事故防止のための「脱着ボデー車・実機を用いた『ヒヤリハット』実演安全講習会」の開催要領について細かな詰めを行った。

(7) 建設廃棄物委員会

建設廃棄物に係る課題解決に向けて次のとおり取組を行った。

建設廃棄物委員会及び分科会を開催し、適正処理の推進に関わる今後の課題等について、意見交換や討議、活動を行った。

① 建設廃棄物委員会

- ・ 委員会は、6月30日、9月5日、11月29日の計3回開催した。
- ・ 10月17日 施設見学研修会
施設見学先 (株)トクヤマ・チヨダジプサム関東工場（千葉県袖ケ浦市）
チヨダウーテ(株)千葉工場（千葉県袖ケ浦市）
S.P.E.C.(株) エコレ城南島（大田区）
参加者 (一社)東京都産業廃棄物協会 (一社)東京建設業協会
(一社)東京建物解体協会

② 建設混合廃棄物分科会

一都三県建設混合廃棄物意見交換会として、幹事会を6回開くとともに、意見交換会を2回、「勉強会」を1回、「拡大講習会」を1回開催した。

- ア 4月26日 一都三県建設混合廃棄物意見交換会（参加者48名）
- ・ 建設廃棄物の処理推進について
 - ・ 廃棄物の不適正処理事案について
- イ 8月22日 一都三県建設混合廃棄物意見交換会「勉強会」（参加者102名）
- ・ ダイコー事件にみる排出事業者責任のあり方について
 - ・ 排出事業者向け『建設廃棄物の適正処理推進の手引き』の説明及び活用

方策等について

- ・ドライバーをはじめとした人手不足感等について

ウ 10月16日 一都三県建設混合廃棄物意見交換会「拡大講習会」

(参加者 165名)

一都三県の行政、ゼネコン等排出事業者、解体業者、処理業者が一堂に会
する初めての試みであった。

- ・産業廃棄物の排出事業者責任について
- ・排出事業者向けの『建設廃棄物の適正処理推進の手引き』の内容説明と
協力依頼について
- ・各団体の適正処理に向けた取組状況等の報告

エ 2月9日 一都三県建設混合廃棄物意見交換会 (参加者 60名)

- ・「特殊な廃棄物等処理マニュアル」((一社)日本建設業連合会 環境委員会
発行)について [当環境委員会委員より解説・説明]
- ・処理困難物の処理料金の確保について
- ・処理困難物等の取扱に関する手引きの作成等について
- ・建設廃棄物協同組合リーフレットの紹介
- ・処理処分契約単価実態調査アンケートの報告と今後の対応について

③ 建設汚泥分科会

建設汚泥の扱いについては、(公社)全国産業廃棄物連合会での従前からの
議論を踏まえた上で、当分科会も討議を行った。

- ・4月5日 建設汚泥処理施設及び改良土認定について
- ・6月29日 建設汚泥再生品の利用促進方策について

④ 再生砕石問題WG

再生砕石問題WG ((一社)東京建設業協会、(一社)東京建物解体協会、及
び(一社)東京都産業廃棄物協会)の3団体は、東京都環境局が、平成29年
5月「再生砕石利用拡大支援制度」を立ち上げたのを受け、東京都に対し、業
界が自主的に定めた、高度なリサイクルを可能にする再生砕石の品質基準「東
京ブランド “^い粋な” ^いえこ石」を策定・申請し、「技術的及び学術的知見に照
らし優位性が認められる品質基準」として、10月4日認証された。

また、当協会会員企業の成友興業(株)城南島工場が、平成29年12月13日
「基準適合再生砕石を継続的に製造することができる工程、設備仕様その他の
能力を有する施設」の第1号施設として認証された。

今後、高度成長期に建築された大量の建設物の更新需要、加えて、オリンピ
ック・パラリンピック開催による都市開発が加速する中、会員企業をはじめ多
くの再生砕石生産事業者が施設認証を取得し、安定した供給体制を構築してい
くことが望まれる。

なお、平成30年3月15日付「環境物品等の活用に係る工事成績評定の当

面の取扱いについて(周知)」(東京都建設副産物対策協議会〈東京都都市整備局都市づくり政策部〉)で、「再生砕石利用拡大支援制度」で認証された施設で製造された基準適合再生砕石を受注者が自ら提案して使用した場合、工事成績評定で加点されることが決定した。

(8) 多摩支部

① 多摩支部会・講演会・研修会

6月の支部会では施設見学会の見学先及び日程等を確認した。また多摩支部法制度検討委員会・コミュニケーション委員会・教育研修委員会より活動報告を行った。

支部会終了後、教育研修委員会主催による「よくある深刻な労務問題から、会社・経営者を守る！」と題して、富島社労士事務所より、労務管理の重要性及び問題発生時の対応のポイントなどについてご講演いただいた。

続いて多摩環境事務所廃棄物対策課より「多摩地区における最近の指導状況について」、八王子市廃棄物対策課からは「八王子市の行政情報等について」をテーマにご講演いただく研修会を行った。

② 施設見学会

9月にはコミュニケーション委員会主催の日帰り施設見学会を開催した。「東京スーパーエコタウン事業」に新しく建設された、㈱アルフォ第2飼料化センターと成友興業㈱城南島第二工場を見学した。メタン発酵のバイオマス発電、汚泥・汚染土の特殊高度洗浄によるリサイクル等、新たな両施設設備に関心が高まった。

見学会終了後、スカイツリーを見学し、屋形船にて懇親会と一日満喫することができた見学会となった。

③ 多摩支部幹事会及び適正処理意見交換会

3月の多摩支部幹事会では平成30年度の事業計画を検討、支部会等の日程を決定した。

多摩支部法制度検討委員会主催により、多摩環境事務所廃棄物対策課と八王子市廃棄物対策課の出席のもと多摩支部幹事との適正処理意見交換会が開催された。多摩地域の諸問題について、活発な意見交換が行われた。

(9) 青年部

平成29年度は個人、個社単位では中々行えない質の高い研修プログラムを組み、部員知識や能力の向上に寄与した。また他県・他業種・他業界などの渉外活動を積極的に行い、情報収集やコミュニケーションの場を増やした。更に会員企業の人材採用支援事業を女性部と合同でサポートし、業界へ人材を集める研究・活動、そしてこの業界のPR活動を行ってきた。

① 勉強会・研修会

研修委員会主催で「心を届ける伝え方・話し方セミナー」を開催。1泊2日間の合宿形式で行い、元アナウンサーやマネージャーをお迎えして、話し方やスピーチのテクニックをアウトプット型グループ研修という形で行った。

また、2007年ミスユニバースで世界一になった日本代表や、資源循環ネットワークの代表理事による講演会も主催した。

② 採用支援事業

「社会を支える産業廃棄物業界」そして「資源を生み出す仕事」というテーマで東洋大学と日本工学院の学生を前に出前講座を行い、業界への関心を高めた。また、求人情報誌の「POWERWORK」に特集記事の掲載や当業界のカテゴリー設置をお願いし、中途採用向け求人広告掲載の実用化を図った。その他、女性部と合同で業界PRムービー作成や新卒の合同採用面談会を開催した。

③ 環境・コミュニケーション活動

コミュニケーション委員会主導で、『東京でできる自然体験～家族参加型～』エコツーリズム活動、神奈川県青年部と日本橋にて合同ゴミ拾いイベントの開催や福島県青年部との交流会なども実施した。また、青年部関東ブロック協議会の賀詞交歓会なども東京都庁展望階にて主催し、仕事につながる広域での渉外活動に勤めた。

(10) 女性部

本年度も4つのチームの活動と（公社）全国産業廃棄物連合会「関東地域協議会女性部会」が正式に発足したこともあり、以下のとおり充実した大変有意義な活動ができた一年間であった。

① 研修会チーム

- ・ 6月15日 施設見学会の実施
スーパーエコタウンの城南島地区内工場
(成友興業(株) 城南島第二工場 / (株)リーテム 東京工場)

② 環境教育チーム

- ・ 青年部との合同勉強会『人材の採用と育成』と懇親会の実施
- ・ 採用支援PTの出前講座の実施に向けたプログラム作り、打合せ等の準備
- ・ 部内での出前講座のプレ発表とSDGs（持続可能な開発目標）勉強会の実施
- ・ 11月2日 武蔵野大学 出前講座の実施
- ・ 12月11日 東京都市大学 出前講座の実施

③ 社会貢献チーム

- ・ ペットボトルキャップの売却益で購入した大型絵本を陸前高田市等へ寄贈
- ・ 部内でのペットボトルキャップの告知と集計作業の実施
- ・ ベルマーク収集のためのリーフレット作成と集計作業の実施

④ 情報発信チーム

- ・ 関東地域協議会女性部会「合同勉強会」の企画
- ・ 女性部員募集リーフレットの作成
- ・ 女性部のホームページ更新
- ・ 協会役員を招いての勉強会と懇親会の実施

⑤ (公社) 全国産業廃棄物連合会 関東地域協議会女性部会

- ・ 9月21日 設立総会と合同勉強会の実施
- ・ 11月17日 (公社) 全国産業廃棄物連合会等主催第16回「産業廃棄物と環境を考える全国大会」開催時における「e-Lady21のつどい」の実施
- ・ 2月9日 記念講演会と賀詞交歓会の実施 (幹事県：埼玉県)